

CASE 1 伊那食品工業

<http://www.kantenpp.co.jp/corpinfo/index.html>

所在地：長野県伊那市西春近 5074

事業内容：食品用・工業用・医療用品等業務用寒天・かんてんぱぱ等、家庭用寒天

売上高：144 億円

売上高経常利益率：15%

創業（設立）：1958 年

従業員数：315 人

平均年齢：34 歳

（2004 年現在）

企業概要

業務用寒天から家庭用寒天まで、寒天をテーマにした研究開発型企业で、国内マーケットの約 80%、世界シェアの約 20%を占める研究開発型企业。当社は人に優しい企業として富に有名で、社長の塚越氏は「人件費はコストではない」という。また当社の社是は、「いい会社をつくりましょう」、経営理念は「企業は社員の幸せを通して社会に貢献すること」、そして、モットーは「企業は企業のためにあるのではなく、企業で働く社員の幸せのためにある」と記されていることからよく分かる。この会社における「人」というのは、決して従業員のことだけではなく、従業員はもちろん、顧客や仕入先、地域住民など、企業に関わるステークホルダーすべてが含まれており、その「人」を大切にし、社会に貢献する企業である。

売上高の推移

売上	経常利益	売上高経常利益率	従業員数
133 億	20.18 億	15%	315 名
98 億	8.34 億	8.5%	259 名
82 億	8.04 億	9.8%	200 名

ポイント

無理な成長を追わない

48 年連続増収増益 "毎年毎年、対前年（売上・利益）を下回らない"

敵をつくらない

成長の種まきを怠らない

社員を大切にする

a) 人件費はコストではない"

b) 社是「いい会社をつくりましょう」

c) 経営理念「企業は社員の幸せを通して社会に貢献すること」

d) モットー「企業は企業のためにあるのではなく、企業で働く社員の幸せのためにある」

まとめ

創業以来 48 年連続、増収増益を続ける当社は決してハイテクではない。斜陽産業であった寒天に新たな付加価値を付け、成長発展を遂げている企業である。その成長の秘訣は「中小企業が生き残る道は、「研究開発型」企業になること」という考えのもと、社員の 1 割以上を研究開発要員にあて、今日の仕事ではなく明日以降の仕事をさせていることにある。また、経営目標を「毎年、対前年（売上・利益）を下回らないこと」と、明確で分かりやすく、誰にでも暗記できる目標にしている。そして何より、すべての「人」の幸せを願う企業理念に強さがある。

今後も、この戦略のもと、着実に成長発展していくことであろう。